



ご存知ですか？ 図書館WEBサービス



ご自宅のパソコンやスマートフォンなどで図書館を便利に使えます。

★図書館WEBサービスでできること★

- ①貸出・予約状況の確認
- ②貸出中資料の延長
 - *但し、貸出中資料に期限切れがなく、次に予約がない資料に限り1回のみ。
- ③WEB予約
 - *合計10点まで予約可
 - 但し、雑誌は5冊、視聴覚資料は4点まで
- ④メールでの予約資料確保連絡の受け取り
(メールアドレス登録者のみ)

初めてご利用される方は、
図書館ホームページの新規登録から
・パスワード
・メールアドレス (利用希望の方のみ)
の登録をお願いします。
是非、ご利用ください。



*詳しくは、図書館ホームページのWEBサービス利用案内をご覧ください。



図書館カレンダー ～8月～

日	曜日	中央	犀川	勝山
1	火	休館日		
2	水			
3	木			
4	金			
5	土	①10:30～ ②14:00～		
6	日			
7	月			
8	火	休館日		
9	水			
10	木			
11	金			
12	土			
13	日			
14	月			
15	火	休館日		
16	水			
17	木			
18	金			
19	土			
20	日			
21	月			
22	火	休館日		
23	水			
24	木			
25	金			
26	土	おひさまの会		
27	日			
28	月			
29	火	休館日		
30	水			
31	木			
		館内整理日		
特設	怖～い本	平和を考える	怖い話	

★夏休み
チャレンジ教室
『カプラで遊ぼう』
8月5日(土)
13:30～

★夏休み
チャレンジ教室
『スライムを
つくって遊ぼう』
8月3日(木)
13:30～

☆勝山館
臨時休館
8/19(土)は
夏まつりのため、
勝山館のみ
休館いたします。

ひよこのおはなし会(0～2歳くらい)
10時30分～
犀川 毎月第2土曜のみ

土曜日のおはなし会(3歳くらいから)
中央・犀川 14時～
勝山 14時30分～

図書館員のおすすめ本

『おあとがよろしいようで』

オカヤ イヅミ(著) 文藝春秋(2017)

食べることが好き、死ぬのはこわい。

そんな作者が、綿矢りさ、朝井リョウなどの人気作家15人に、最後の晩餐について聞いてみたコミックエッセイ。

死ぬ前にあなたは何を食いたいですか？ [三]



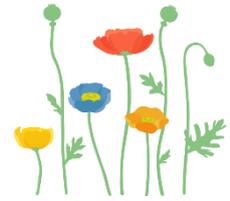
『10の奇妙な話』

ミック・ジャクソン(著)

田内 志文(訳)

東京創元社(2016)

常に眠たい少年、定年退職した男、ありふれた日常が「非日常」に変わる瞬間を、こっそり覗いてみませんか？文字通りの「奇妙な」短編集です。 [K]



『殺し屋、やっています。』 石持 浅海 (著) 文藝春秋(2017)



ひとりにつき650万円。ビジネスとして「殺し」を請負うプロの殺し屋。だが、殺すために見張る標的の奇妙な行動がどうにも気になって…。殺し屋が真面目に日常の謎を解いていくミステリー短編集。 [しっぱ]

『比(なら)ぶ者なき』 馳 星周(著)

中央公論新社(2016)

一族繁栄のため、皇族をも翻弄し、造り上げた平城京…その政の手腕で栄華を手中にした藤原不比等が、読者を歴史ロマンの舞台に引きずり込んでしまうことに。

きっと、奈良に旅立ちたくなるやも… [S]



『シアトル発ちょっとブラックなコーヒーの教科書』

岩田 リョウコ(著)

ガイドワークス(2017)



コーヒーを飲むのに最適な時間とは？おいしいコーヒーを作るためにやってはいけない5つのNGって？シアトル在住の筆者による、全米でベストセラーのコーヒーの本。コーヒートリビアも楽しくて、おいしいコーヒーが飲みたいくなります！ [り]

『そうめん』

満留 邦子(著)

成美堂出版(2016)



茹だるような暑さの日、食べたくなるのはやっぱりそうめん！薬味たっぷりですぐ食べたり、あえたり、炒めたり。「また、そうめん」なんて家族に言わせません。 [YOU]

新着資料案内

図書館のホームページから新着資料の確認ができます。貸出中のもの、他館所蔵のものは、お近くの図書館まで取り寄せることもできます。 ホームページアドレス <http://www.town.miyako.lg.jp/library/top.html>

～小説～

■『ぶぶ漬屋稲茶にごぞいます』 今井絵美子(著) 角川春樹事務所 ■『隠密味見方同心 8』 風野真知雄(著) 講談社 ■『完本密命 巻之 24』 佐伯泰英(著) 祥伝社 ■『1934年の地図』 堂場瞬一(著) 実業之日本社 ■『探偵さえないければ』 東川篤哉(著) 光文社 ■『増山超能力師大戦争』 菅田哲也(著) 文藝春秋 ■『ドナルド・キーン』 小学館 ■『静寂』 トーマス・ラープ(著) 東京創元社 ■『真夜中のパン屋さん[6]』 大沼紀子(著) ポプラ社 ■『囚われの島』 谷崎由依(著) 河出書房新社 ■『クジャクを愛した容疑者』 大倉崇裕(著) 講談社

～その他～

■『「山の神様」からこっそりうかがった「幸運」を呼び込むツボ』 桜井識子(著) 宝島社 ■『孫正義 300年王国への野望』 杉本貴司(著) 日本経済新聞出版社 ■『地球は本当に丸いのか？』 武田康男(文・写真) 草思社 ■『住まいの古い支度』 阿部純子(著) 講談社 ■『ああ、だから一人はいやなんだ。』 いたうあさこ(著) 幻冬舎 ■『誤解されやすい方言小辞典』 篠崎晃一(著) 三省堂 ■『産業医が見る過労自殺企業の内側』 大室正志(著) 集英社 ■『作るのキャンタン平らなワンコ服 12 か月』 ピボン(著) 文化学園文化出版局